



博物館だより

No. 224 2013. 12

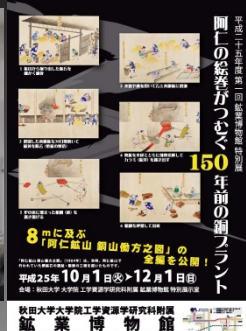
ミニミニマイズ

平成25年度第1回企画展

「阿仁の絵巻がつむぐ150年前の銅プラント」が終了しました!



特別展を鑑賞しに来てくださった阿仁公民館生き生き大学の皆様



平成25年度第1回特別展「阿仁の絵巻がつむぐ150年前の銅プラント」が12月1日(日)をもって終了しました。たくさんの皆様のご来館、誠にありがとうございました。

貴重な江戸時代の絵巻物であるとともに、秋田県の重要な鉱業の歴史を語る資料を間近で鑑賞できるとあって、県内各地などから期間中約2,000人にも及び大勢のお客様に足を運んでいただきました。今後も皆様に興味を持って頂けるような展示を企画していきたいと考えております。ご来館、誠にありがとうございました。

来館者アンケートより

- 阿仁鉱山の展示は大変勉強になりました。(46歳・男性)
- 阿仁鉱山の歴史を拝見し、阿仁の魅力を再認識できました。(64歳・男性)
- 絵巻の顔料が鉱物であることや、その鉱物(実物)が展示されていて勉強になった。今回のような鉱業史の展示会は興味深い。全国の鉱山と秋田の鉱山を比較できればよい。(43歳・男性)

歴史上初の鉱業博物館解説書 鋭意制作中!



秋田大学鉱業博物館の約100年に渡る歴史の中で初めての解説書の誕生に向け、ただいま鋭意制作中です。上の画像は館内の展示物と解説書のゲラです。解説書に掲載する展示物をひとつひとつスタッフが撮影し、原稿を作成しています。

価格に関しましては、たくさんの人の手に届きやすい価格に設定し、皆様にご満足いただけるような一冊にしたいと考えておりますので、ご期待下さい。

約3,300点という日本一の質・量を誇る、国内唯一の鉱業専門博物館が送る解説書です。是非この本と一緒に館内を見学してみてください。より深く、当館の展示に触れることができます。

秋田大学インフォメーションセンターにて、岩絵の具を展示しています。

秋田大学インフォメーションセンターでは、鉱業博物館出張展示として、特別展でも展示した「岩絵の具」を展示しています。有名な「フェルメールブルー」は、実は「ラピスラズリ」という鉱物を砕いたものを原料としています。このようにして昔の作家たちは、自分で色を生み出してきました。その一部に触れてみませんか?

インフォメーションセンターは平日10:30~17:00まで、どなたにでも開放しております。他にも色々な展示や紹介を行っているそうです。こちらでも博物館の標本を一部販売しております。是非、足を運んでみてください。



平成25年度 第5回鉱業博物館市民向け開放講座

寒冷地における喜しの熱問題

平成25年12月19日(木) 当館3階講堂にて、第5回鉱業博物館市民向け開放講座が開催されました。講師は博物館研究員、秋田大学名誉教授の菅原征洋先生でした。

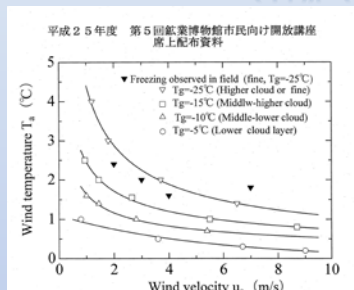
今回の講演は、秋田県民の我々なら誰でも経験のある、しかしその仕組みまでは知らない「道路の路面凍結」について講演していただきました。

先生は「秋田の冬の道路は運転しづらい、出身である北海道は圧雪状態だが秋田ほどではないのはなぜか?」と疑問に思い、今回の講演内容について研究してみようと思われたそうです。

菅原先生は伝熱工学を専門とされています。私たちの身近に例えると、家の断熱や省エネに関する技術の学問です。先生はその知識を生かし、今回の講演の内容を、今後論文にまとめて発表するとおっしゃられていました。

大学教授の現在行っている研究を直接、しかも噛み砕かれた説明を聞くことのできる機会に、聴講者も興味深そうに真剣に聞き入っていました。

～熱放射路面凍結のメカニズム、スリップに注意して安全運転を～



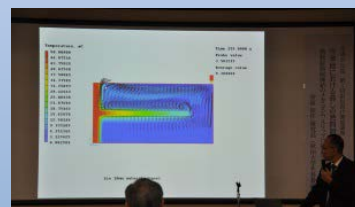
講師の菅原征洋先生



当日配布された資料の一部です。上のグラフは博物館前の坂で計測した、路面凍結した時点(黒い点)の風速(横軸)と風の温度(縦軸)のグラフです。

風の温度が低く、風速が速いと路面が凍ることがわかります。

よって、風速と風の温度が路面凍結に深く関わりがあることがわかります。



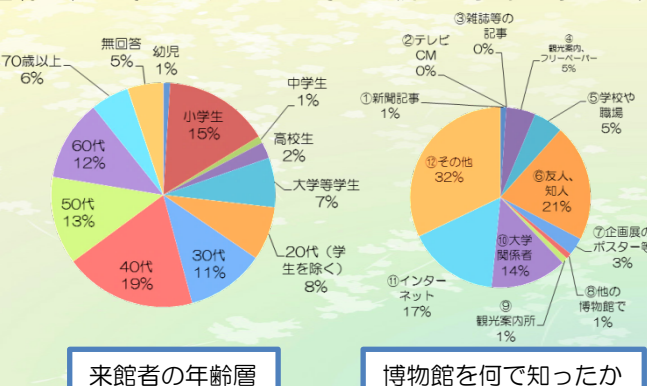
講演の様子

平成25年度前期(4月1日から9月30日) アンケート等集計結果

平成25年度前期の入館者数は3,523名の方々にご来館頂きました。平成24年度前期入館者数は3,791名でしたので、昨年度と同じ値で推移しています。その中で504名の方にアンケートを回答いただきました。ありがとうございました。結果から、来館者の年齢・博物館を何で知ったか・博物館へのご意見について一部抜粋して掲載させていただきます。ご意見が多かったのは展示標記や説明に関して、「展示にふりがなが欲しい」、「名前の由来が知りたい」、「活用方法が知りたい」といった内容でした。振り仮名に関しましては、少しずつではありますが作業を進めております。今後も皆様の声に添えられるよう努力を続けて参りますので、忌憚のないご意見をお願いします。

また、その他にも「秋田が世界に誇れる博物館なので、もっと宣伝してほしい」、「秋田県を代表する観光ルートにしてほしい」、「ボランティアさんの説明が面白かった」などお褒めの言葉やPRに関するご意見を多数いただきました。今後の予定としてにぎわい交流館「AU」(あう)に出張展示を予定しております。PRをはじめユニークな展示を企画し、より多くの方に鉱業博物館を知ってもらいたいと考えています。

アンケートの回答、誠にありがとうございました。今後も皆様の貴重なお声をお寄せいただければ幸いです。ご協力のほど、よろしくお願いします。



次回市民向け開放講座のお知らせ

平成25年度 第6回
 鉱業博物館市民向け開放講座

ファラデーの生涯(2)

電気分解の法則

—ファラデーの原論文を読み解く—

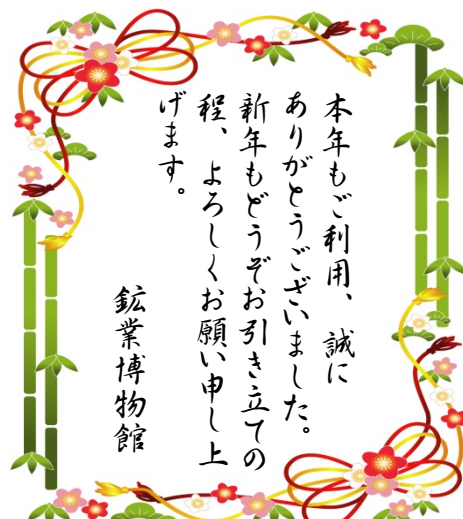
日時:平成26年1月23日(木)

15:30~16:30

講師:金児 紘征氏(秋田大学名誉教授)

会場:鉱業博物館 3階 講堂

当日、入館・聴講ともに無料です。ご希望の方には前編の資料を配付いたしますので、どうぞお気軽にご参加下さい。



年末年始休館のお知らせ

12/26(木)
 ~1/5(日)

12月26日(木)から翌年1月5日(日)までの期間、休館させていただきます。1月6日(月)からは通常開館いたします。皆様のお越しをお待ちしております。